

28日にも辺野古代執行

国交相 沖縄、設計変更不承認へ

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡る代執行訴訟

で、福岡高裁那覇支部から軟弱地盤改良工事の設計変更承認を命じられた沖縄県は、期限の25日までに承認を代執行する方向で調整している。政府関係者や複数の県幹部が明らかにした。

玉城デニー知事を含む県幹部は25日に協議し、方針を正式決定する。国交相の代執行を踏まえ、防衛省沖縄防衛局は来年1月中旬にも軟弱地盤がある大浦湾側の工事に着手する見通し。

は3カ月以内に承認を取り消すことが可能となる。

玉城氏は大葉性肺炎で21日から入院中だが、県幹部によると、オンラインで

勝訴が確定した場合、知事

は、期限の25日までに承認を

しない方向で最終調整に入つた。不承認の場合、地方自治法に基づいて斎藤鉄夫国土交通相は県側に事前通知した上で28日にも承認を

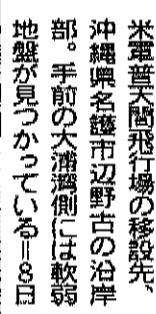
ば初めてのケースとなる。高裁支部は20日の判断で、別の訴訟の最高裁判決で敗訴が確定した県側が承認しないのは法令違反で、代執行以外での是正は困難だと指摘していた。

県側は最高裁に上告を検討しているが、逆転勝訴しない限り工事を止められないと、玉城氏は大葉性肺炎で21日から入院中だが、県幹部によると、オンラインで

勝訴が確定した場合、知事

は、期限の25日までに承認を

しない方向で最終調整に入つた。不承認の場合、地方自治法に基づいて斎藤鉄夫国土交通相は県側に事前通知した上で28日にも承認を



米軍普天間飛行場の移設先、沖縄県名護市辺野古の沿岸部。手前の大浦湾側には軟弱地盤が見つかっている=8日

辺野古代執行を巡る経過	1999年・沖縄県宜野湾市の米軍普天間飛行場 12月の移設先を名護市辺野古と閣議決定
	2013年・仲井眞弘多知事が辺野古沿岸部の埋め立てを承認
	15年10月・翁長雄志知事が承認取り消し 11月・国が承認取り消しを撤回する代執行に向け提訴。その後和解
	18年12月・国が辺野古沿岸部で土砂投入開始
	20年4月・国が軟弱地盤改良の設計変更を県に申請。その後、玉城デニー知事が不承認
	22年4月・国が不承認を取り消し、県に承認するよう是正指示。その後、県は不承認取り消しと是正指示は違法と提訴
	23年・最高裁判決で県敗訴確定。その後、国は承認を勧告、指示したが知事は承認せず
	10月5日・国が承認の代執行に向け提訴
	12月20日・福岡高裁那覇支部が知事に承認命じる判決
	25日・承認期限。知事ら県幹部が対応を協議

県幹部や弁護士らと協議を重ねている。22日には県政与党の県議の代表者が県幹部を通じ、承認しないよう求めた。昨年の知事選で移設阻止を最大公約として再選されたことや、反対が根強い県内の民意を踏まえ、承認は困難との判断に傾いているもようだ。